

「進路を考える会」議事録／③国際・外国語系

多目的ホール

Aさん：慶応義塾大学 総合政策学部（通称 SFC）

Bさん：青山学院大学 文学部 英米文学科

1. 進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由

Aさん：2年次 前期

第一志望校は京都大学。国公立で文理融合の学部を志望。親族が京都在住。

SFCも文理融合で学びが自由に選べる。自然豊かな環境が良い。

Bさん：3年次 後期

進路の選択を悩んでいた。夏休み中に勉強していて翻訳に興味を持ち、英米文学部に絞って第一志望を決めずに選択肢の中から受験し、合格した中から選んだ。

2. 入試方式

Aさん：一般入試

センター試験の後、二次試験までの間に青山や立命館等、私大の一般入試を練習のつもりで受けてから京大二次試験に臨んだ。中央大総合政策学部はセンター利用。

慶應文学部と SFC、早稲田文化構想は個別。

Bさん：一般入試

自分の学力に合ったところで確実に受かるところを受験した。センターは神奈川大学、併願校は明治学院大学、青山と同じレベルで立教大学、チャレンジ校として上智大学

3. 本格的に受験勉強を始めた時期

Aさん：予備校に通い始めたのは2年次から。10月頃から力を入れ始めた。

高1から学校の授業を抜けることなくしっかり受け、定期テストで埋めていく事で受験につながった。バレーや学校行事もこなしながらの受験勉強だった為、高3からは特に時間の使い方に工夫をしながら本格的に勉強を始めた。

Bさん：3年の春から塾に通い始めた。英語の授業は追いついて行くのが大変だったので、各授業で集中して身に付けるように1年次から重点的にやっていた。他の教科は3年から広くやるようになった。

4. 勉強方法

Aさん：東進衛星予備校に、高2の前半は週2回 9月～週5回、高3は毎日通い、受講以外に自習室も使って勉強した。

Bさん：塾はほぼ毎日通っていた（自習室を毎日利用）、塾までの時間は友達と図書館で勉強したり週1回の補講を受けていた。授業はしっかり受けてテスト前に詰めて勉強した。英語は長文やリスニングの勉強を続けていた。

5. おすすめの参考書

Aさん：主に東進のテキスト 生物基礎 化学基礎 数学のパターン演習などは役に立った。

Bさん：塾のテキスト中心 世界史が苦手だったので、塾の先生に勧められた「ナビゲーター世界史 B (全4冊)」を何回も読んで基礎を固めた。英語は学校で配られた「総合英語」を使って文法の確認をしていた。この本は受験直前まで使用していた。

6. 部活、委員会、行事との両立

Aさん：コーラスクラブや有志団体の活動、スポ大ダンス系などもこなし、クラシックバレエも続けていたので、時間の有効的な使い方を考え工夫した。

朝型生活にして4時起きで勉強、8時登校して授業前にも1時間勉強した。

通学時間や隙間時間も無駄にすることなく単語を覚えたりしていた。

Bさん：LGBTアイリスに参加していた。英語のプレゼン、グローバルキャンプの成果があった。(大学でネイティブの英語だけの授業について行けるようになり、ディスカッションもリーダー的な感じでやっている) 受験は朝からなので朝型生活にシフトするのがお勧め。

7. 受験の感想

Aさん：4～5月は第一志望校に落ちた悔しさで辛かったが、これだけ勉強に時間をかけられる時期もないし、人から心配してもらえないと思う。努力して良かった。

今思い返すと良く頑張ったなあと思える。部活の同期の励ましが支えになった。

人の温かさを感じる事ができた。

Bさん：3年の時期に分かり合える友達ができ、自分と向き合える時間ができ楽しむ時と勉強する時のメリハリを付けた生活を送っていたと思う。

8. 大学の授業内容、学校生活全般の感想、入学前と印象の違い

Aさん：幅広い分野を学べる学部で、学生も様々。外国からの学生もいる。

何かやりたい、1つ誇れるものを持ちたい、という人が多く刺激を受けている。

幅広い分野をしたら良いのかと迷う部分もあるが、人との出会いを大切にして視野を広げ、自分の理想となるコミュニティを作りその中で自分を高めていく事が必要と感じている。

Bさん：周りが英語のできる人達ばかりでクラス分けで2番目のクラスになってしまったのもっと努力が必要。英語以外のフィールドも広いのでいろいろ学べる。

大学合格してエンジョイしている人が多いので流されないようにしたい。

教職をとるために他の人より多く授業数(単位数)を取っているので空き時間はあまりなく課題も多い。翻訳の勉強がまだできていないのが残念。サークル活動も楽しい。国際的な視野を広げることができ、留学の機会が多数ある。

9. 現役生に伝えたいこと

Aさん：国公立受験は数学があるからと諦める人が多いが、今から諦めないでほしい。

学費が安い分 留学費用等に充てられるから 特に1年生のうちから数学を捨てないで。

留学したい人は、留学先で何を学びたいのかきちんと決めて臨むこと。

何の為に大学に行き、何を学ぶ為に留学するか、どの様な方向に就職したいか?等

自分の目指すべき将来をよく考えておくと良い。

Bさん：自分としっかり向き合ってどんな分野に進みたいのか、何がしたいのか何を学びたいのか将来のことを考えてほしい(1~2年次のうちに)

神奈総はとても恵まれていると感じた。神奈総生は自分をしっかり持っている人が多いが大学は流される人も多い。

神奈総の先生方は良い先生ばかりなので、もっと関わって先生を使って学べることは積極的に学んで欲しい。夏休みの補講も活用する。

【 質疑応答 】

● 高校の授業の予習復習の方法は？(特にコミュニケーション英語が大変！)

Aさん：その週のうちに授業内容を理解できる様にしておく。覚えるべきものはきちんと覚える。

積み重ねが大切。コミュ英に関しては時間が解決？(笑) 大学より難しいかも。

間違っても良いから答えよう。英語を喋る事に慣れることが大事。

Ello という英対話のサイトでリスニング練習をすると良い。

Bさん：コミュ英はディスカッションがメインなので、その週のうちに消化できるように覚えていく。

課題のプリントが配られたらわからない単語を予め調べて関連した本なども参考に見ておく。

初めは慣れないが焦らないで繰り返しで慣れていく。Ello でリスニングのトレーニングをする

と良い。最初は嫌だったが最後はディスカッションに加われるようになり楽しくなった。

● 受験期のモチベーションの保ち方は？

Aさん：友人に第一志望校を宣言する事でプレッシャーを自分にかけた。周りの理解も得られ、支えてもらえ励ましてもらえた。周りから心配されている分自分から折れる事は出来ないと、モチベーションを保つ事ができた。

Bさん：友人に励まされたのが一番大きかった。友人との交流が励みになった。受験直前に先生が励してくれたのも嬉しかった。

● オープンキャンパスは誰と行ったら良いか？

Aさん：最初は親と行った。流れがわからず不安だったので安心だった。進路について一緒に考える良いきっかけになった。2～3年次は殆ど1人で行ったが周りは友人同士が多かった。

Bさん：最初は親と行った。同じ分野を目指している友達と行き情報の交換をした。一人でも行った。アウェイ感はあるが自分の興味のあるところに積極的に参加して先輩方の話を聞く。

● 奨学金の利用は？

Aさん：友人はけっこう使っている人がいる。

Bさん：使っていない。祖父母から資金援助を貰った。受験前に友人が申請していた。進路の先生に相談すると良い。

● 進路について子供とどの様にかかわるべきか悩んでいるが、ご両親はどうでしたか？

Aさん：親からは全く何も言われなかったので自分で進路を決めた。ただ、オープンキャンパスについて、人気校は早めに予約しないと入れないとアドバイスをくれたので助かった。姉がいるので大学については早くから関心があった。

Bさん：オープンキャンパスの情報収集などは親からもらった（1年次から行っていた）

● 予備校選びのポイントは？

Aさん：映像授業は自分のペースで必要な分だけ受講ができる。同じ予備校でも校舎によって担当者や雰囲気が違うので、校舎選びも大事。個別指導はチューター（大学生）の指導なので内容というより、指針を示してもらえる事をメインに利用したほうが良い。

Bさん：東進の映像授業を受けていた。習い事で忙しかったので集団は無理だと思った。ただし映像だけだと評価がないので受けっぱなしで満足してしまうこともある。サポートしてくれるチューターとの関係も大切、校舎によって違うので無料体験を受けて自分に合ったところを選ぶ。個別指導はサポートや指針を示してくれるが学習の内容を深められるかはわからない（講師が大学生の場合があるので）

● 推薦について知りたい。

Aさん：指定校推薦は3年前期までの成績で決まるので1年次はまだこれから。諦めずに頑張ってください。AO入試や公募制推薦については併願可の大学があるが、併願不可の大学との組み合わせには注意が必要。テーマ研究をAOや推薦入試、面接や小論文に生かしている人も多いので、テーマ研究はとても大事。

Bさん：選べる範囲が広がるので使えるものは使った方が良い。情報収集がとても大事でAO入試でも併願があったりなかったりする。テーマ研究を生かしている友達もいた。

● 大学に入ってから視野を広げる為の活動は？

Aさん：政策をコンテストする授業がある。無国籍の学生の大学進学に向けて、NPOとコンタクトをとり支援活動を行っている。無国籍の人がたくさんいるという現実を、世の中に広めたいと思い活動している。

Bさん：留学生が多かったり、留学したりして視野を広げる機会はたくさんある。学部外の科目を取ってキリスト教（宗教）の授業を受けている。国際的な視野を広げる為にオックスフォード大学短期留学を予定している。

● 大学の授業以外の活動は？

Aさん：高校でアクティブラーニング的な内容の授業を教えている。ワークショップ的な授業で、テーマ研究の相談も受けている。クラシックバレエも続けている。アカペラサークルにて週1回活動。個別指導塾で週3回のアルバイト。

* 大学交換留学制度について

交換留学の学費は在学している大学の学費以外は掛からない。単位も留学先の大学の単位が貰える。大学でのGPA（成績）のスコアが高くないといけない。
留学に行く時期を失ってしまうと就職活動も大変になる。企業は良い成績を取って交換留学に行っても褒めてくれない。

司会の先生はご自身のお子様の大学受験のお話を交えて、会を進行してくださいました。

大学の交換留学制度の説明や、卒業生のお話の内容を詳しくわかりやすく補足して下さったので、大学についてよくわからない生徒や保護者でも理解しやすい内容となりました。